



FUJI WOMEN'S UNIVERSITY

No.64
June.20, 2017

藤女子大学
広 報

藤



(左・右) 新校舎、(中央) 2017年度 入学式

CONTENTS

- 未来共創ビジョン / 2
- 新入生へのエール / 4
- 学長就任あいさつ / 8
- 人間生活学部 海外研修報告 オーストラリア / 9
- 私のカレッジライフ ～サークル編～ / 14

未来共創ビジョン

2025年に迎える学園創立100周年を目指して、教職員・学生・卒業生が、共に創り上げる未来を謳うため「**藤女子大学未来共創ビジョン**」を定めました。



藤女子大学は、1925年に創立された札幌藤高等女学校を淵源として、女子高等教育による社会貢献を目指して1947年に創立された藤女子専門学校に由来します。1950年には藤女子短期大学となり、1961年に藤女子大学が誕生し、キリスト教的世界観や人間観を土台とした女性の全人的高等教育によって、多くのすぐれた人材を社会に送り出してきました。

いま、女子大学としての本学の使命を果たし続けるために、教職員・学生・卒業生が一体となって、教育・研究の維持と向上、そして社会貢献に向けたたゆまぬ改革に取り組もうとしています。

建学100周年を見ずえて、本学の将来に向かう教育の理念・目的をあらためて明確にし、教職員・学生・卒業生が共に創り上げる本学の未来を謳うものとして新たに「藤女子大学未来共創ビジョン」を定めます。

巻頭 言



藤が変わる

学長 ハンス ユーゲン・マルクス



私学を取り巻く環境が年々厳しさを増す中、8年後、藤学園は創立100周年を迎えます。牽引役を担うべき藤女子大学は、前身の藤女子専門学校の開学から今年まで、70年の歴史を刻み、その間、約三万人の卒業生を社会に送り出してきました。高等教育全般に共通の危機を好機に変えるため、藤女子大学の教職員・学生・卒業生がひとつになり、「未来を切り拓く藤、地域とつながる藤、世界ではばたく藤、個性の花咲く藤、信頼される藤」という5つのビジョンをもって大学を作りあげてを新たに決意していることを大変心強く思っています。三者による共創なので、藤が大いに変わっていくことでしょう。

その第一歩としては、これまでももまして教養教育に力を入れていくとともに、両学部各学科のカリキュラム改正を行い、専修を設けます。教養教育への新たな取り組みの一環として、2018年度から文学部、2019年度から人間生活学部では、新たに開設される大学共通科目を専任教員が担当することになります。さらに、カリキュラム改正に伴って、文学部の英語文化学科には「文学・文化専修」、「言語・コミュニケーション専修」を、日本語・日本文学科には「日本語・日本文学専修」、「日本文化専修」を、そして文化総合学科には「現代社会専修」、「歴史・思想専修」を開設し、くわえて、留学・キャリア形成などのためには、英語運用能力を育む「英語プログラム」を新たに設けます。また、人間生活学部の人間生活学科には「プロジェクトマネジメント専修」、「現代家政専修」、「社会福祉専修」を、食物栄養学科には「管理栄養士専修」を、保育学科には「子ども教育専修」と「子ども生活支援専修」を開設します。

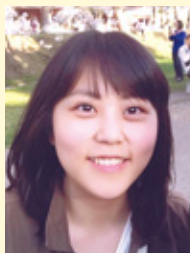
2012年、大学開学50年を機に藤学園の設置母体である殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会総長シスター・ブランドが来日され、「木が大きく成長する

には根がしっかりと大地に深く根差さねばならない」とあいさつされました。申すまでもなく藤の「根」は建学の理念であり、これが深く根差さねばならぬ「大地」は北海道です。道内カトリック教会の初代統括責任者であったキノルド司教が、開拓地である「北海道の未来は女子教育にある」と痛感していました。そのため、祖国ドイツに本部がある殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会に高等女学校創設・運営のため修道女の派遣を要請したことは、北海道唯一の四年制女子大学の起源です。したがって、キリスト教的世界観・人間観を土台として、女性の全人的高等教育を通して、広く人類社会、わけても地域社会に対する愛と奉仕に生きることができる、高い知性と豊かな人間性を備えた女性を育てることを使命としています。そのキリスト教的世界観ないし人間観の要は、一人ひとりの人間は神の似姿として生まれ、それゆえ、まさにオンリーワンの一個人として侵すべからざる尊厳をもつ、という考えです。そしてこの考えこそ男女平等の確固たる礎でもあります。

2017年の国際女性デーに際して、国連のグテレス事務総長は、世界の主要メディアに原稿を寄せ、「女性の権利を守り、各女性の可能性を最大限に発揮させる唯一の方法は、女性をエンパワーすることだ」と訴え、「時代錯誤の考えと凝り固まった男性優位主義によって、指導的地位はいまだに男性によって占められ、経済的なジェンダーギャップが広がっている」という事実注意到を喚起しました。そのとおりでしよう。しかし、グテレス事務総長の問題提起もまだまだ男性中心の発想を暴露しています。女性の本当のエンパワーメントは、男性側から女性に力が与えられる、というよりは、女性が自ら力を獲得し、正々堂々増大していくことです。これができる女性を育てることは、以前にもまして、藤の課題です。

新入生へのエール

〈文学部〉



目標に挑戦してみよう!

英語文化学科 3年
K.Hさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さん、入学前に抱いていた目標や挑戦したいことなどを覚えていますか？ 私は、藤女子大学に入学する前から留学に挑戦したいと思っていました。そして、2年次の夏季休暇中にオーストラリアへ約1か月間の短期留学を実現しました。留学先では、文化や環境が異なるため大変なこともありましたが、ホストマザーとの生活や様々な国籍の生徒との授業を通じて多くの刺激を受け、自分を成長させる良い機会となりました。

新入生の皆さんの中には留学しようかなかなか決断できず悩んでいる方もいるだろうと思います。しかし、大学生活は本当にあっという間です。その中で、留学できる機会は限られます。少しでも興味を持っている

方は、できるだけ早くから留学に挑戦することをお勧めします。短期、半期、長期など留学の期間は様々ですので、国際交流センターで情報を集めたり、先輩に相談したりするのも良いと思います。

勿論、留学に限らず、皆さんの目標は様々だと思います。授業に関して言えば、1、2年次に単位を多めに取っておくべきです。また、なるべく多くの専門領域の基礎演習を受講することも大切です。そうすることで、自分が何に興味・関心を持っているのか気づくことができ、3年次に自分の専門領域を選択する際もあまり悩まずに済むと思います。

皆さんが留学、大学での授業、サークルやアルバイト活動など、一つでも挑戦したいと思えることを見つけ、充実した大学生活を過ごせるよう応援しています。

2017年度 英語文化学科 新入生



新入生のみなさんへ—— 「発見」という学びの形

日本語・日本文学科 3年
M.Mさん

私からみなさんにお伝えしたいことは、大学で学ぶということは与えられるのを待つことでなく、自ら発見することであるということです。みなさんはそれぞれやりたいことがあったり、やりたいことを見つけるために大学に進学したことと思います。ですが、実はまっすぐ目標にたどり着いてしまうと、そこで何をしたらいいかわからなくなってしまうこともあります。

ですから、私はまず寄り道をしてみることをおすすめします。心惹かれるものを少しずつ集めてみてください。映画でも本でもスポーツでもなんでもかまいません。一見して何の関連もない事柄でも、ふとすると点と点が繋がるように結びつきます。それがみなさん各々の「発見」であり、いつか辿りつくはずの目標の入り口なのです。

今年から、私もスタッフを務める「アイランズ」という新しいラーニングスペースが開設されましたが、そこでは、スタッフ同士で意見を出し合い、共有し、議論を重ねています。アルバイト先で学んだことを生かそうとする人もいれば、図書館と比較してみたり、友達から聞いた感想を改善案の糸口にしてみたりする人もいます。各々の「発見」の成果といえます。

アイランズのスタッフはこの「発見」のコツには慣れていますが、いつも多様な意見を求めていますから、新入生のみなさんもぜひアイランズを覗いてみてください。そしてスタッフとお話ししてみてください。一緒に新たな「発見」をしませんか。

2017年度 日本語・日本文学科 新入生





思い切り挑戦できる 4年間

文化総合学科 3年
O.Nさん

皆さん、ご入学おめでとうございます。入学式から2か月たち、大学生活にも慣れてきた頃でしょうか。

大学生活の醍醐味は、自分がやりたいことに思い切り挑戦できることです。自由に履修を決めたり、アルバイトをしたり、この4年間は本当に自由です。

皆さんは、大学での夢や目標、やりたいことはもう決まっていますか？ 私にとって、その1つは「留学すること」でした。その夢を叶えるため、2年生の夏休みに1カ月間オーストラリアへ留学しました。出発前は、初めて1人で海外に行くことや、自分の知っている人が誰もいない場所での生活など、不安もありました。しかし現地での生活は、そんなことを忘れるくらい毎日が本当に楽

しく充実していました。様々な国籍の友達も出来ましたし、外から日本という国を見ることで、今までは気づかなかった新たな発見をすることも数多くありました。

またこの留学を通して、勉強への意欲が高まったことも事実です。もっと英語や異文化コミュニケーションを学びたいという気持ちが強くなりました。そのため昨年秋には大学の留学プログラムに応募し、今年の後期にはカナダで勉強することが決まりました。現在は自分の新たな挑戦にワクワクしているところです。

目標を決めて挑戦した経験は、必ず自分の成長や自信につながると信じます。1年生の皆さんも、ぜひ何か目標を決めて思い切り挑戦してみてください。大学生活はきっと素晴らしいものになると思います。

2017年度 文化総合学科 新入生



〈人間生活学部〉



社会で輝ける女性に

人間生活学科 4年
T.Mさん

ご入学おめでとうございます。突然ですがみなさん、この大学にどんな思いで入学しましたか？ 勉強したくて、親に言われて、実は第一志望じゃなくて…それぞれ違うかと思います。でも、実は何だっていいのです。これからどういう女性になって、どのような手段で社会に貢献していくか。そのために自分は何をするか。それを考えることが大切になってくると思います。

勉強しても、アルバイトしても、サークルに入っても、何でもいいのですが、自分にしかない価値をつくりましょう。自分にしかない武器は、人生のあらゆる場面で役に立ちます。なければ路頭に迷います。ですから既存の集団に所属しなくても、個人で活動するのも面白いと思います。今では、学生のうちに起業する人も多くな

りました。

資格を取ろうとする人は、資格+αのことを学んでほしいです。資格を取得するだけなら、わざわざ大学に通わなくていいと思います。大学に来た意味を自分なりに考えてみると、学ぶ姿勢や行動が変わってくるでしょう。

私は1年生で「学習支援kacotamサークル藤」を設立、2年生はDVに関するファシリテーターの資格取得、3年生でデートDV予防啓発の講演活動、今は編集者兼ライターとして働きながら大学に通っています。その間たくさん遊んだり悩んだり、ようやく自分にしかできないことが見つかりました。是非、自分だけの価値やできることを探して、社会貢献できる女性になれるよう4年間で有意義に過ごしてくださいね。

2017年度 人間生活学科 新入生





じぶん次第!

食物栄養学科 4年
S.Kさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。食物栄養学科の1年次ではさっそく調理実習や実験があります。毎週のように調理着と白衣を着ては、初めてのレポートに四苦八苦し、食品成分表と電卓片手に栄養価計算…といった日々を過ごしているのではないのでしょうか。時には難しい勉強や沢山の課題が出て、想像以上につらいと感じることもあるかもしれません。ですが、皆さんは食べ物やその効果に関心があったり、栄養士という職業に興味を持ったりと、何かしらのきっかけがありこの学科に入られたはずです。そのワクワクする探求心や疑問、夢をいつでも学びの原動力にして、大変なときを乗り越えてほしいと思います。

また、4年間の中でサークルやボランティ

ア活動、アルバイトにもぜひ挑戦してください。友人の輪が広がり、普段は得られない刺激を受けて、一日一日が本当に充実します。目上の方と接する機会が出来てマナーが身につく、社会に出る一步手前の大学生の時期に色々な経験しておくことはとても大切だと思います。今後、絶対に役に立ちます。他にも長期間の休みを利用して旅行に行くなど、勉強を頑張ったら遊びも全力で楽しんでください。

これからは、自分の頑張りや行動そのものが自分の道を作ります。4年間どのような大学生活にしていくかは全て「じぶん次第」です。皆さんが素敵な藤女子ライフを送れますように♪

2017年度 食物栄養学科 新入生



「気になる」を見つける

保育学科 4年
N.Yさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活にも慣れてきた頃でしょうか。

皆さんの中には、実は子どもと関わった経験がほとんどないとか、今はまだ明確な将来像は決まっていないという方もいると思います。4年間の学生生活に不安もあるかもしれません。

保育学科では4年間をかけて、保育の基本や子どもの心身の発達、心理学、特別支援教育や「家族」のこ、音楽や造形表現…他にも本当に多くのことを知り、学んでいきます。例えば保育士が勤務しているのは保育園だけでしょうか？ 実は児童養護施設や療育センター等の施設にも保育士がいます。きっとこのように、入学時には予想さえしなかったことをたくさん知っていくの

ではと思います。

そして、その中で1つでもいいのであなたの「これが気になる」を見つけられたら、学ぶことがさらに楽しくなるのではないのでしょうか。もし音楽が好きであれば、ピアノの練習だけでなく、子ども独自の歌い方について調べてみても面白いと思います。一見保育と関係ないようなことも、必ずどこかでつながっていると考えます。

あなたが「気になる」と思ったら、ぜひ図書館で本を借りてみたり、先生に直接話を聞いてみましょう。図書館には専門書がありますし、専門家の先生方は経験に基づいたお話をしてくれます。人は誰しも子ども時代を過ごしているので、きっとあなたの「気になる」も見つかるはずですよ。

2017年度 保育学科 新入生



〈大学院〉



新入生の皆さんへ

人間生活学研究科
食物栄養学専攻 2年
I.Sさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学院人間生活学研究科2年生を代表して、心より皆さんを歓迎いたします。

私は、大学卒業後より学びを深めたい、もっと専門的なことを学びたいと考え、大学院進学を決めました。現在は、北海道の食に注目し、研究を日々行っています。

大学院では、社会人の方や、幅広い年齢の方とともに学ぶ機会があり、そのような交流をとおして多くのことを学ぶことができます。授業も少人数で行われるため、先生とコミュニケーションを取りながら学ぶことができることも大学院の特徴かと思います。

入学して間もない時には、授業や研究など、これからの大学院生活を思い浮かべて、不安と期待が入り混じった思いでい

るのではないのでしょうか。ですが、修士の2年間は本当にあっという間に時間が過ぎていきます。特に1年目は授業も多く、研究が思うようにはかどらないもどかしさを感じると思います。しかし、そんな不安から授業を楽しめないのはもったいないです。自身の研究分野にとらわれず様々なことを学ぶ機会だと思い、いろいろなことに興味を持つことが大学院の生活では大切だと感じます。楽しいことだけではなく、たくさんの課題や思い通りにならずに悩むことも多々ありますが、一緒に学ぶ仲間や先生とともに何事も楽しみながら大学院生活を過ごしていただけだと願っております。一緒に充実した時間を過ごしましょう。

2017年度 大学院 新入生



新任教職員紹介



文化総合学科
教授
中田 貢
社会科教育法、
地歴科教育法、
公民科教育法、
生徒指導、教育相談



食物栄養学科
教授
中川 幸恵
臨床栄養学



食物栄養学科
研究助手
坂井 絵理
食品機能学



保育学科
教授
駒形 武志
子ども文化論
小学校国語科教育法



保育学科
准教授
中島 寿宏
体育科教育、
子どもの発育発達



キャリア支援課
小坂 元希



保健センター
(花川キャンパス)
菅谷 かすみ



英語文化学科
教務助手
小井沼 沙季



退職教職員

2017年3月31日付



文化総合学科 教授	太田 眞 (社会科教育法)	保育学科 教授	小山 充道 (臨床心理)
文化総合学科 准教授	杉内 峰彦 (現代哲学)	食物栄養学科 研究助手	田中 文
図書館情報学課程 教授	小川 千代子 (図書館情報学)	英語文化学科 教務助手	坂本 朋子
人間生活学科 教授	三宅 理一 (建築史)	教務課	村上 彩香
食物栄養学科 教授	武部 久美子 (臨床栄養)	花川保健センター	中村 信子

学長就任あいさつ

〈第一部〉

大学を取り巻く環境

学長 ハンス ユーゲン・マルクス

1. 少子化の連続

昨年度まで勤務していた学園で初めて管理職に就いたとき、「大学冬の時代」が大いに話題になっていました。当時、18歳人口の減少と「大学全入」の到来が目の前に迫っていました。2000年代に入ると、大学設置基準の緩和もあって、すでにカリキュラムの改革や学部・学科の改組、新学部増設などに取り組んでいた一部の大学もありましたが、とりわけ国公立大学では一向に改革の兆しがありませんでした。

少子化が進むにつれて、大学を取り巻く状況をさすキーワードはいつの間にか「冬の時代」から「氷河期」に変わってきました。これは大きな問題意識の変化を物語っています。北海道の長い冬の後にも必ず春がきますから、「冬の時代」ならまだ楽観的な危機意識で済みますが、「氷河期」となりますと、私たちが生きている間には終わらない。すなわち、大学を取り巻く環境の改善は望めない、ということです。

実際、その通りで、今では冬の時代も氷河期も話題にならないほど、当たり前、厳しい状況が続いています。こうした中、ついに国公立大学も本気で改革に取り組むようになりました。

2. 大学評価制度の確立

2001年に小泉さんが首相になり、新しい政権のあらゆる分野への改革の意気込みを訴えようと、当時の遠山文部大臣は、世界的なレベルで競争できる大学を育てるため、トップ30のプログラムを発表し、国内700大学のうち、一番強い30校を選んで、一層の発展のために特別な補助金を付与することにしました。

この構想は現在スーパーグローバル大学構想として続いています。国公立を問わず、各大学が定期的に評価を受けることは、法律で義務付けられている制度も小泉政権時代以来のことです。本学が三度目の認証評価の結果も「大学基準に適合している」と認定されたことを喜んでいました。

3. 危機を好機に

国公立を問わず、すべて大学が危機に直面していることは否めません。ところが、危機という漢字は、二つの「キ」から出来ています。一つは「危険の危」、いま一つは「好機の機」です。すなわち、危機とは危うい状況ではありますが、

新たなスタートを切るよいチャンスでもあるのです。この危機を、グローバルスタンダードという目標に向けて絶えざる自己改革を推進していくチャンスにしなければならない、というのが、私の信念です。

それでは、危機をどのように好機に変えたらよいのか。まず、今、日本国内の大学が直面している危機の発端の一つは、短大の生き残り策として、国が容認した四年制大学への組織転換政策であった、と言っても間違いないでしょう。私が前勤務先で管理職に就いた頃には、500校ちょっとであった四年制大学は今700校を超えています。

短大の四年制大学への組織転換政策は危機を先送りしただけです。その結果、似たような学部を抱えた大学が雨後のタケノコのように増え、かつての「駅弁大学」以上に特徴のない「コンビニ大学」が続出しました。ところが、高等教育全般の社会的評価にとって芳しくない、こうした実態こそ、カトリック大学にとって、新たな展開を図る絶好のチャンスだと私は思います。

4. ミッションスクールの社会的評価

「それは、甘い」と思われる方もおいでかと存じますが、旧帝大以外のほとんどの国立大学に特徴がなく、人気のある私大のうちには多くのミッションスクールが入っています。今や、大学への視線がはなはだ冷たい、非キリスト教国日本において、ミッションスクールこそ独自の教育研究を行っている、と期待されているのです。コンビニ大学が増える中、カトリック大学にとっては大変有利な状況と言えるのではないのでしょうか。

もちろん、カトリック大学はみな私立ですから、学問領域のすべての分野をカバーするわけにはいきません。しかし、藤女子大学のように、限られた分野でも、カトリック大学としての特徴を活かした教育・研究のサービスを提供するならば、小規模であっても、カトリック大学として生き残るでしょうし、さらに、新たな展開が図れると確信しています。

そのためには2つの条件をクリアしなければなりません。一つは、カトリック大学を他大学と異にする建学理念を再確認し、その推進のためにできるだけ多くの構成員の合意を取り付けることです。いま一つは、社会のニーズに十分応えるため、教学、経営、両部門において絶えざる自己改革を実行することです。

第二部は広報藤第65号(2018年1月発行予定)でご紹介します。



現地に飛び込んで得た自信と チャレンジ精神

食物栄養学科 准教授 高橋 博

「あれ?どうしてスーツケースが道に並んでるの?」

ブリスベン空港からグリフィス大学へ向かうバスの中で、狐につままれたような気持で我々は目の前の光景を眺めていました。実は、走行中にトレーラーの扉が開き、載せていた全員のスーツケースがまるでドミノのコマを並べたかのように道路に点々と落ちていたのです。幸い紛失物はなかったものの、先行きに一抹の不安を覚えるスタートでした。

しかし案ずることなかれ。大学に到着した途端、そんな不安は見事に吹き飛びました。グリフィス側の担当者であるアイリーンさんが元気に手を振り、ホストファミリーの皆さんが学生たちを包み込むような優しい笑顔で迎えてくれたのでした。

こうして始まった2016年度人間生活学部海外研修。日程は2月25日から3月7日の11日間。学部プログラムとしてオーストラリアで実施するのは初の試みであり、協定校であるグリフィス大学(GU)のネイサン(ブリスベン)、ゴールドコーストの2キャンパスでの講義・ワークショップ、藤の学生向け特別英語クラス、3学科の専門に関わる施設訪問(総合家族サポート施設、保育施設、特別支援学校)や実習、さらに文化交流や観光(ゴールドコーストでのホテル泊を含む)などがギュッと詰まった意欲的な研修内容です。

さて、日曜の早朝に現地に到着してすぐホームステイ先へ引き取られていった学生たち。ほとんど全員が海外初体験で、11月から計7回ほど実施した事前学習・オリエンテーションでも、期待と不安の入り混じった表情を見せていた15名。一人ひとり見送りながら、一緒に引率して下さった保育学科の今野先生と、「ホストファミリーとはうまくやれるだろうか」、「バスには間違えずに乗れるだろうか」、「明日からの英語クラスは日本語なしで大丈夫だろうか」等々、まるで親になったような気分で心配していたのですが…。

それが杞憂だと分かったのは、初日のウェルカム・オリ



フェアウェルパーティーにて修了証を手にして記念撮影

エンターションを終えて、英語のSue先生の問いかけに澁澁と応えながら、積極的にアクティビティに参加する学生たちを見た時でした。その後も真夏のような暑さにもめげず彼女たちは快進撃を続け、研修が半ばを過ぎるころには、本当に生き生きとした表情で新しい環境に柔軟に溶け込んでゆく姿を見て、人間というのは短期間でこんなにも成長するものなのか、と一種の感動すら覚えたのを記憶しています。

オーストラリアの保育事情や栄養士の役割についての専門の講義と病院見学には通訳が付きましたが、GU在生との交流会、アボリジニー文化についての体験型ワークショップ、GU食栄プログラム生との調理実習、日本文化に関するプレゼン、そして、もちろん毎日のホストファミリーとのやり取りも、英語だけで全てやり通しました。教員のサポートも一部ありましたが、自分たちの潜在能力を存分に開花させ一回り遅くなった彼女たちは、この11日間で忍耐力、探究力、コミュニケーション能力、問題解決能力、他者との共感力、異文化順応力、そして何より自信とチャレンジ精神を手に入れたように思います。

「英語をもっと勉強して必ずまたここに戻ってくる!」参加学生の一人が最後に言った言葉が、研修の意義を象徴していました。研修とはその場限りのものではなく、その先に続く人生を変えるためにあるのだと。そして、研修を企画する我々教員にとっても、一緒に学び成長する貴重な機会なのだ。そんなことを強く感じた旅でした。

グリフィス大学在校生たちとの交流
(アフタヌーンティー)



アボリジニーの伝統的
ポディー・ペインティングの実演



食物栄養プログラムの学生たちと
オーストラリア料理の調理実習



学校法人藤学園 藤女子大学 2016年度 決算諸表

2016年度 資金収支計算書 (単位：千円)

科目	大学 前年度	大学 決算額	法人 決算額
学生生徒等納付金収入	2,071,857	2,054,308	2,761,183
手数料収入	37,078	36,572	53,683
寄付金収入	11,352	18,208	68,572
補助金収入	785,663	196,223	1,087,433
資産売却収入	1,283,940	841,208	842,207
付随事業・収益事業収入	12,385	2,752	36,560
受取利息・配当金収入	15,456	9,095	19,782
雑収入	35,435	97,776	201,420
借入金等収入	0	600,000	600,000
前受金収入	736,662	752,120	846,283
その他の収入	1,611,315	2,432,549	3,038,761
資金収入調整勘定	△ 1,380,421	△ 832,414	△ 1,042,300
前年度繰越支払資金	1,610,490	1,270,702	2,341,136
収入の部 合計	6,831,212	7,479,099	10,854,720
人件費支出	1,461,466	1,594,431	3,003,733
教育研究経費支出	486,051	378,653	589,591
管理経費支出	99,904	92,717	162,630
借入金等利息支出	3,624	3,409	3,409
借入金等返済支出	82,210	82,210	82,210
施設関係支出	582,001	1,214,036	1,218,823
設備関係支出	46,024	94,775	113,924
資産運用支出	2,751,964	2,888,849	3,344,930
その他の支出	66,555	48,355	137,316
資金支出調整勘定	△ 19,289	△ 19,295	△ 152,808
翌年度繰越支払資金	1,270,702	1,100,959	2,350,962
支出の部 合計	6,831,212	7,479,099	10,854,720

2016年度末 貸借対照表 (単位：千円)

科目	法人 前年度	法人 決算額
固定資産	19,173,046	19,607,636
有形固定資産	12,203,157	13,039,401
特定資産	6,875,870	6,494,836
その他の固定資産	94,019	73,399
流動資産	3,140,611	3,228,606
資産の部 合計	22,313,657	22,836,242
固定負債	1,090,506	1,594,112
流動負債	1,120,666	1,162,151
負債の部 合計	2,211,172	2,756,263
基本金	22,406,659	22,880,141
繰越収支差額	△ 2,304,174	△ 2,800,162
純資産の部合計	20,102,485	20,079,979
負債及び純資産の部 合計	22,313,657	22,836,242

藤女子大学 2016年度決算の概要

事業活動収支計算書の概要として、教育活動収支差額は49百万円の収入超過となっています。収入の部の合計は前年度比46百万円増の23億95百万円となりました。学生現員数の変動により学生生徒等納付金が減少した一方で経常費補助金が増加し、また退職金財団交付金により雑収入が増加しました。支出の部の合計は前年度比21百万円増の23億45百万円となりました。人件費が教職員の採用と退職金により増加しましたが、経費の方は教育と管理合わせて前年度比1億14百万円減少しています。

教育活動収支と教育活動外収支を合わせた経常収支差額は、55百万円となり、臨時的収支を表す特別収支差額は、北16条本館北校舎解体にかかる資産処分差額により百万円の支出超過となっています。

これらの結果、基本金組入前当年度収支差額は53百万円の収入超過となりました。基本金組入額は新棟の備品・図書資産の増加分を合わせて5億26百万円となり、それを差し引くと当年度収支は4億73百万円の支出超過になります。

2015年度から1年半にわたる耐震改築工事の総工費は17億30百万円で、そのうち6億5百万円は国庫補助の施設設備補助金で、6億円を私学事業団からの借入金で、残る5億25百万円を自己資金でまかないました。新校舎竣工により施設設備の耐震事業は完了しましたが、今後も教育環境のさらなる充実を目指して計画を進めています。

2017年度(平成29年度)入試報告

■藤女子大学総計

学部	学科	募集	出願	受験	合格	入学
文学部	英語文化学科	80	358	354	214	102
	日本語・日本文学科	80	316	312	241	104
	文化総合学科	80	282	275	233	89
	計	240	956	941	688	295
人間生活学部	人間生活学科	80	272	266	247	58
	食物栄養学科	80	299	286	224	97
	保育学科	80	197	195	169	84
	計	240	768	747	640	239
合計		480	1724	1688	1328	534

□一般入学試験(A日程) ※試験1日目・2日目合計

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	英語文化学科	44	225	221	129
	日本語・日本文学科	34	128	125	102
	文化総合学科	36	217	210	190
	計	114	570	556	421
人間生活学部	人間生活学科	30	106	100	96
	食物栄養学科	32	185	172	142
	保育学科	38	118	116	104
	計	100	409	388	342
合計		214	979	944	763

□一般入学試験(B日程)

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	日本語・日本文学科	10	30	29	18

□大学入試センター試験利用入学試験(A日程)

学部	学科	募集	出願	合格
文学部	英語文化学科	5	75	49
	日本語・日本文学科	10	117	87
	文化総合学科	4	45	26
	計	19	237	162
人間生活学部	人間生活学科	12	131	116
	食物栄養学科	14	94	62
	保育学科	3	48	34
	計	29	273	212
合計		48	510	374

2016年度 事業活動収支計算書 (単位：千円)

区分	科目	大学 前年度	大学 決算額	法人 決算額
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	2,071,857	2,054,308	2,761,183
	手数料	37,078	36,572	53,683
	寄付金	11,352	8,208	37,642
	経常費等補助金	180,915	195,555	1,086,765
	付随事業収入	12,386	2,752	36,737
	雑収入	35,435	97,776	201,727
	教育活動収入計	2,349,023	2,395,171	4,177,737
	人件費	1,457,686	1,593,160	2,999,152
	教育研究経費	742,631	635,490	1,043,939
	管理経費	123,431	116,158	202,094
教育活動支出の部	徴収不能額等	428	454	454
	教育活動支出計	2,324,176	2,345,262	4,245,639
	教育活動収支差額	24,847	49,909	△ 67,902
	事業活動収入の部	15,456	9,095	19,782
教育活動外収入の部	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	15,456	9,095	19,782
	事業活動支出の部	3,624	3,409	3,409
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出の部	教育活動外支出計	3,624	3,409	3,409
	教育活動外収支差額	11,832	5,686	16,373
	経常収支差額	36,679	55,595	△ 51,529
	資産売却差額	1,940	208	1,208
特別収支の部	その他の特別収入	607,071	12,335	47,824
	特別収入計	609,011	12,543	49,032
	資産処分差額	86,242	14,511	15,955
	その他の特別支出	0	0	4,054
特別支出の部	特別支出計	86,242	14,511	20,009
	特別収支差額	522,769	△ 1,968	29,023
	基本金組入前当年度収支差額	559,448	53,627	△ 22,506
	基本金組入額 合計	△ 670,370	△ 526,969	△ 540,185
当年度収支差額	△ 110,922	△ 473,342	△ 562,691	

事業活動収入計	2,973,490	2,416,809	4,246,551
事業活動支出計	2,414,042	2,363,182	4,269,057

2016年度 藤女子大学・大学院 進路就職状況

最新情報は本学HPに掲載いたします。

【就職状況】 http://www.fujijoshi.ac.jp/career/affair/a_latest/ 【就職先一覧】 http://www.fujijoshi.ac.jp/career/list/l_latest/

〈大学〉

2017年5月1日現在

	卒業 者数 ※1	卒業後の進路						その他 ※2
		進学		就職				
		希望数	決定数	希望数	決定数	就職率		
文 英 語 文 化 学 科	94	4	2	84	80	95.2%	6	
日 本 語 ・ 日 本 文 学 科	86	2	2	76	70	92.1%	8	
文 化 総 合 学 科	86	2	1	78	72	92.3%	6	
学 部 計	266	8	5	238	222	93.3%	20	
人 間 生 活 学 科	79	2	0	76	75	98.7%	1	
食 物 栄 養 学 科	88	6	6	82	73	89.0%	0	
保 育 学 科	92	2	2	87	87	100.0%	3	
学 部 計	259	10	8	245	235	95.9%	4	
合 計	525	18	13	483	457	94.6%	24	

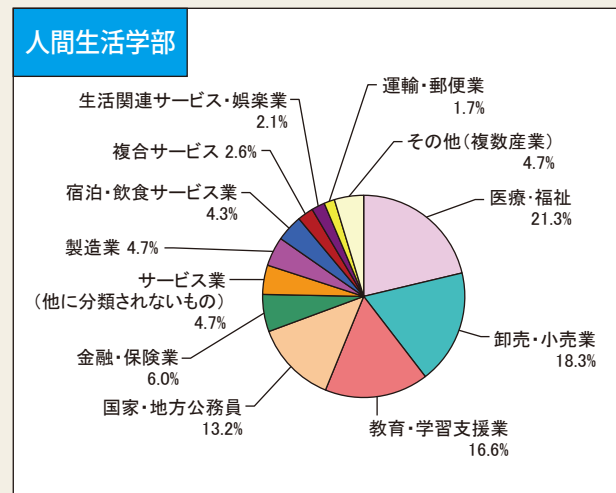
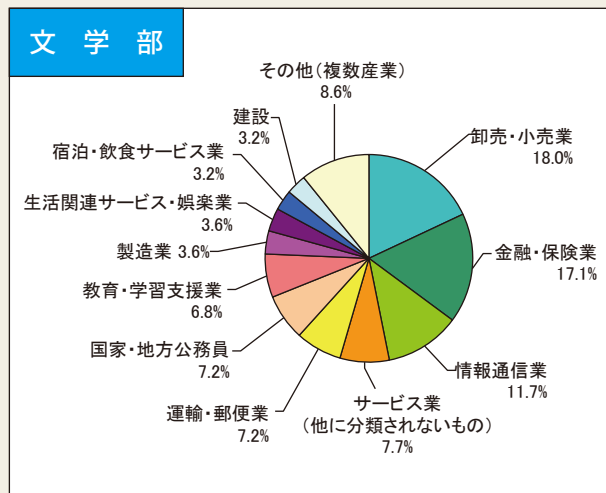
		就職先内訳							
		企業等		専門職(福祉・栄養・保育)		教 員		公 務 員	
		希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数
文 英 語 文 化 学 科	72	70	—	—	1	1	11	9	
日 本 語 ・ 日 本 文 学 科	66	62	—	—	5	5	5	3	
文 化 総 合 学 科	71	68	—	—	0	0	7	4	
学 部 計	209	200	—	—	6	6	23	16	
人 間 生 活 学 科	58	57	6	6	8	8	4	4	
食 物 栄 養 学 科	43	42	31	24	4	3	4	4	
保 育 学 科	18	18	29	29	17	17	23	23	
学 部 計	119	117	66	59	29	28	31	31	
合 計	328	317	66	59	35	34	54	47	

※1：年度途中の卒業者を含む。※2：主婦・社会人入学者を含む。



食物栄養学科のデータは途中経過報告としてご覧ください。5月上旬の管理栄養士国家試験合格発表後に専門職として就職する者もあり、今後も就職決定数が増えます。最終的な進路決定状況は、本学HPに掲載する2017年10月末現在のデータをご覧ください。

〈就職先産業別比率〉



〈大学院〉

人間生活学研究科	修了 者数	修了後の進路				
		進学		就職※		その他
		希望数	決定数	希望数	決定数	
人間生活学専攻	0	0	0	0	0	0
食物栄養学専攻	2	0	0	2	2	0
合 計	2	0	0	2	2	0

人間生活学研究科	就職先内訳							
	企 業 等		専門職(福祉・栄養)		教 員		公 務 員	
	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数
人間生活学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0
食物栄養学専攻	1	1	0	0	1	1	0	0
合 計	1	1	0	0	1	1	0	0

※社会人(職場復帰)を含む。

2016年度卒業生の就職状況は、前年度に続き、就職希望者に占める就職者の割合が大学全体で9割を超える良い結果となりました。

経団連加盟の大手企業の選考解禁日が前年度より2ヶ月早まったことで、企業就職を目指す学生の就職活動は短期決戦となりました。学業との両立面での深刻な影響は減った一方で、3年生3月以降の活動は多忙を極め、前年から実施されているインターンシップ等に積極的に参加するなど、早くから活動を始めておくことの重要性はより一層増したと言えます。

労働力不足を背景に「女性活躍推進法」の成立など、近年は女性が社会で働くことへの追い風が吹いており、女子学生を積極的に採用したいとする企業等の本学訪問も増えています。しかし、就職環境に改善の兆しが見える時こそ、雰囲気やイメージだけに流されず、地に足の着いた地道な就職活動を大事にして欲しいと考えています。

2017年度もまた、優秀な学生と早期に接点を持ちたい企業が3年生夏休みのインターンシップを皮切りに動き始めます。遅れず情報収集に動くことの必要性和ともに、発信源の異なる情報も調べ多角的に見ること、自らの特性とも照らし、働くということをよく考えてみることの重要性もまた学生に伝えて参ります。

大学へのご支援ありがとうございます

藤女子大学の寄付募集活動は、みなさまの温かいご支援により、2012年度からの累計額が1億2,800万円に達しました。寄付募集につきまして深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。ここに感謝の意を表しご芳名を掲載させていただきます。

寄付者ご芳名(第10回) 期間 2016年10月1日～2017年3月31日(敬称略・お申込み順)

〈保護者〉	〈卒業生〉							〈旧教職員・旧役員〉	〈教職員・役員〉
小西 大潤	中野 洋子	岡本 和子	三島美智子	永淵 昭枝	赤林 園美	萬谷 優子	長谷部 清	田口 恭子	
	三上 謡子	宇川 聖子	阿部和加子	和田 紀子	酒井 和子	本田 方子	小林 三樹	木村 晶子	
匿名 5名	小黒小百合	長南 幸子	中村知佳子	高杉 英子	諸留智恵子	浅野 道子			
計 6名	小笠原志げ子	青木 恵子	森元 芳枝	藤久 晶子	齊藤 弘子		匿名 1名	匿名 1名	
	川井 朋子	沼本かおる	石山 中子	三橋 紀子	河合 伸子	匿名 25名	計 3名	計 3名	
	佐久間桂子	島崎千代美	栗山 静恵	中町 瑛子	三宅 道子	計 98名			
	山上 順子	安藤 栄子	田中 直子	瀬川 昌代	小澤由佳子		〈その他、法人等〉		
	竹田かおり	秋元 道子	金澤 憲子	桐島美恵子	辻 桂子		小林めぐみ		
	井越 真子	村山智寿恵	大塚 陽代	小西 広恵	佐藤 園子		(山下(井後)容子様のご遺志として)		
	子玉千津子	若栗千笑子	塚田 純子	平野真智子	藤田 葉子		(医)阿部小児科医院		
	柴田 敏子	阿部 洋子	佐藤 環	鷹野 淑子	渡部 春美				
	大野 芳枝	佐藤 洋子	松岡 博子	山中 美穂	太田 櫻子		計 2名		
	吉田由美子	遠藤美由紀	松岡 敏子	木村 芳子	松尾ひろ子				
	本間 滝衣	泉 良子	山本 明子	根本 祐子	橋本 邦江				

計112件 3,696,365円

■寄付実績・使途のご報告

2016年度寄付受入 実績報告(2016年4月～2017年3月末)

総計 179件 16,758,365円

寄付金16,758,365円のうち、1,758,365円をキノルド司教記念奨学金の積立金へ、15,000,000円を校舎改築のための施設拡充積立金へ組入れることといたしました。

現在、学生支援体制のさらなる充実のため、新型(給付型)奨学金制度の創設を予定しております。今後とも、ご支援をいただければ幸いです。

〈内訳〉

保護者	57件	1,130,000円
卒業生	104件	2,291,000円
旧教職員、旧役員等	9件	350,000円
教職員、役員等	4件	987,365円
その他	5件	12,000,000円

\\ 新校舎完成!! \\

北16条キャンパスでかねてより建設を進めてきた9階建の新校舎が完成し、4月3日の入学式から使用が始まりました。既に多くの学生が集っており、新しい環境でのキャンパスライフに馴染んでいる様子が伺えます。新校舎はラウンジ(1階 愛称: Maria Lounge)や「i. Learning Space」(2階 愛称: アイランス)等、学生が個人やグループで自由に使えるスペースを充実し、特にアイランスは、半教室、畳、ボックスシート等、学びのスタイルに合わせた多彩な空間があります。ボックスシートの色(黄・ベージュ)は緊張を和らげリラックスさせると同時に、発想力を高めるそうです。授業期間中は3年生の学生スタッフが常駐し、座席予約、機器の貸出等の業務のほか、学修相談にもあたります。3階、4階は可動式の机・椅子を備えた講義室と実習室(調理室、絵画・書道教室)、5階から7階は各学科研究室と学生も利用できる学科研修室、8階、9階は学長室、会議室等の管理部門の施設が配置されています。



2階 i. Learning Space



1階 ラウンジ Maria Lounge



パウダールーム



講義室



調理室

2016年度表彰式

2016年度の学生部長賞が決定し、4月8日(土)に行われた新歓フェスティバルで学生部長より表彰されました。おめでとうございます。

学生部長賞

◆海外支援サークル「SMILE」

フィリピンの奨学生のための新たなスタディーツアーを企画し、成功させたことが評価されました。

◆学習支援kacotam サークル藤

全国レベルで評価されるほどのボランティア活動を継続してきたことを評価されました。

学生部長特別奨励賞

◇文化総合学科2年 吉野 奈美佳さん

大学で学ぶにつれ芽生えた「女性が重要な役割を果たすべき」という思いから、障害を乗り越えて挑戦したコンテストで好成績を収めたことが評価されました。

春休み 英語集中プログラムinフィリピン実施報告

フィリピン協定校 ミリアム大学は、1926年にフィリピンの女性のための教育施設として、カトリック系の宣教会により発足した女子大学です。今回が初となるミリアム大学への派遣プログラムは、春休み中の2017年2月25日から3月8日の日程で行われました。参加学生は4名(英語文化学科1名、文化総合学科3名。すべて1年生)で、文化総合学科 伊藤明美教授が引率しました。

フィリピンは英語を共通語としており、大学教育も英語で行われていることから、英語の学習環境が整っており、比較的参加しやすい料金で、質の高いレッスンの受講が可能です。

「英語集中プログラムinフィリピン」、と銘打った今回の研修についてご報告いたします。



緑豊かなキャンパス



お世話になったミリアム大学の学生と一緒に

引率教員の報告

研修には、毎日プライベートやセミプライベート(2人ずつ)のレッスンが組み込まれたほか、ミリアム大学の学生と共同で日替わりの課題に取り組む‘walking session’の時間もありました。初日のセッションでは、昨年10月に竣工したばかりという「イノベーション・センター」に向き、施設の目的、業務内容、教育などについてセンター長から説明を受け、その後、ペアで15分ほどのディスカッションをした上、共同で提出物を仕上げました。ミリアム大学の学生の協力意識は優れて高く、ホスピタリティ精神に満ちた明るい態度で接してくれました。そのやさしさに応えるべく(学生自身の言葉を借りれば「迷惑をかけたくない」一心から)、英語学習へのモチベーションも上がったようです。短期間ながら今回の研修は、国際場面におけるコミュニケーションスキルの発達をうながす、大変、意義のあるものとなりました。

参加者の感想

研修では英語だけでなくフィリピンの歴史についても学ぶことができます。フィリピンで友達もできて、一緒にご飯に出かけるなど楽しく学ぶことが出来ました。1対1の授業では、自分にあったレベルで英語を学べるため、英語に自信がなくてもしっかり学ぶことができます。海外に行くのが初めての方や文化を学びたい方にもおすすめの研修です。

フィリピン留学は、人生を豊かにしてくれると思います。普段気がつかない、水の大切さ、電気の大切さ、お米のおいしさなど、様々なことに気づかせてくれます。もし今の生活に、張り合いのなさを感じているなら、思い切って行ってみましょう。カルチャーショックも多いと思います。しかしながら、たった2週間弱でも、影響力があります。私は、フィリピンに行く前は、あまり洋楽に興味がありませんでしたが、帰国後は毎日のように洋楽を聞いて歌っています。フィリピンの友達が魅力を教えてくれたからだと思います。日本人はなかなか真似できないような、陽気な笑顔は心を癒してくれます。ぜひ、体験してみてください!

研修スケジュール

1日目 新千歳空港発 成田で宿泊

2日目 成田発→フィリピン マニラ到着
◆滞在はキャンパス内の学生寮。

3日目～
11日目

歓迎セレモニー、
フィリピンについての講義に続き、
英語授業が開始

- ◆午前中の全体授業、昼から午後にかけてセミプライベート、個人レッスン。
- ◆教室の外に出て、ペアになったミリアム大学の学生さんと課題に取り組む。授業で習った言葉を、実際に同世代と使ってみる体験ができます。
- ◆オールドマニラツアーでは、学外に出てマニラの歴史的史跡や、美術館を見学。
- ◆修了式では、ミリアム大学の教職員、学生の前で英語のプレゼンテーション。テーマは藤女子大学のこと、札幌や北海道の観光地、スポーツや食文化など。

12日目 早朝の飛行機で日本へ

留学生歓迎会を行いました。

台湾協定校 輔仁大学から4名の交換留学生を受け入れました。4月19日には留学生歓迎会を行い、マルクス学長より歓迎のお言葉をいただき、続いて、国際交流クラブ「なでしこ」による歓迎イベントが行われました。

留学生は「日本文化」「日本語」などの、留学生対象科目を受講するほか文学部の授業に出席します。

2017年度交換留学生 台湾から4名





中国語同好会

私が入学した2014年は、中国語はひとりで勉強するものでした。ピンインと呼ばれる発音記号が読めない、声調がわからない、聞ける先輩もいない。大変苦労したので今でも覚えています。「藤女子大学に、授業以外で学生が主体となって中国語に触れる機会や環境をつくりたい!」という想いのもと、2016年の11月に18名の仲間と共に設立したのが中国語同好会です。現在は28名で活動しています。毎週月曜日の昼休みに、会話や検定、留学生との交流等の活動を行っています。今後は、同好会メンバー以外の学生も巻き込んで、中国語を通したイベントを開き、交流の輪を広げていきたいと思っています。

中国語は目的ではなく、あくまで手段です。中華圏からの留学生だけでなく、中国語を学ぶ仲間同士が繋がることで、コミュニケーションの輪を広げたい。それが私たち中国語同好会の目的です。



アイドル研究会

アイドル研究会は「アイドルが好き!」という学生のために昨年立ち上げられた新しいサークルです。

アイドルが好き! アイドル活動に興味がある! 同じ考えや趣味を持つ仲間を集めて活動したい! そんな思いで藤女子アイドルダンスグループの結成を目指し、アイドルのコピーダンスを練習しています。活動は週1回、大学内の教室に集まって、DVD鑑賞やダンスの練習をしています。週1回の活動なので他のサークルとの掛け持ちも可能です。

今後の目標は、グループを作ってアイドルダンス大会に参加することです。そのためにも自分たちでステージ衣装を作製したり、曲を作ったりして準備していきたいと思っています。また、動画でプロモーションビデオなども制作し、私たちの活動を広く知っていただけるようにPRしていきたいと考えています。在学生はもちろん新入生で興味のある方にも是非入ってもらえればと思っています。



広告研究会

私たち広告研究会は、札幌近郊でデザイン作成やポスター制作ができる団体として設立されました。設立1年目のヒョッコサークルです(^^)。出来たばかりのサークルなので一人ひとりの力量が大きくとてもやりがいがあります。

企業や他のサークルなどから依頼を受け、ポスターやデザイン作成をはじめ記事の執筆など様々な方法で活動していきます。

昨年度は、じぶん仲介journalというお部屋探しのサービスを運営している企業の方から依頼を受け、札幌市内のおすすめカフェについて記事を書かせていただきました!

今後の展望としては、ホームページの作成やフリーペーパーの配布、デジタルサイネージを起用した広告活動、藤女子大生に向けた札幌近郊で行われるイベント情報の告知・広告など活動の幅を広げていきたいと思っています。また、昨年度出来なかった大学周辺のカフェマップ・お店の紹介などについても、積極的に取り組んでいきたいと思っています。



素顔の先生 第6回

人間生活学部 食物栄養学科 准教授

三田村 理恵子先生



短大卒業式にて
先輩の先生たちと



花川三又同好会

「素顔の先生」第6回目は、食生活学を専門に研究されている三田村理恵子先生にインタビューしました。今回は、先生の過去や、未来のことについて、貴重なお話をうかがいました。

Q1. 大学時代、どのような学生でしたか？

私は、管理栄養士を目指して大学に入学しました。負けず嫌だったので、「絶対に周りには負けない」という思いで、勉強に取り組んでいましたよ。高校までが規則の厳しい学校だったので、大学では遊びも楽しみたいと思っていました。だから、学生時代はしっかり遊び、しっかり学びました。毎日、学校の授業が朝から晩までありましたが、授業が終わったら、すぐに遊びに出かけていましたね。忙しい中でも、いかに遊ぶかを考えていました。

Q2. 学生時代にしておいた方が 良いことはありますか？

サークル活動やアルバイトを通して、コミュニケーション能力や社会性を学ぶと良いと思います。私は、学生時代に家庭教師のアルバイトを始め、人に教えることが大変であることを学びました。また、飲食店で厨房業務と接客のアルバイトを行い、料理の作り方やマナーを学びました。さらに、事務系のアルバイトも行い、電話のかけ方や挨拶などを学びました。様々な年齢の人と関わることで、コミュニケーション能力も身につけることができました。

Q3. 趣味はなんですか？

昔の趣味はテニスです。中学から、硬式テニス部で、大学時代はサークルに入って、社会人になってからはスクールに通って、子供が生まれる前まではテニスをしていました。子育てが始まってからは、無趣味になってしまったので、今年の1月から新しい趣味としてギターを始めました。本当は、ピアノをやろうと思っていたのですが、ピアノは置いてある場所しかできないので、我が家のピアノは居間にあって練習できないんですよ。家族がテレビを見たりしているから。「ピアノじゃなくて、練習できる楽器ってなんだろう…」で、たどり着いたのがギターです。

Q4. 人生最後の日に食べたい食べ物は なんですか？

私は、人生最後の日、食べ物を食べられない状態じゃないかと思うんですね。私の計画では、120歳まで生きるんで、食べられないんじゃないかな。長生きする中で、好きなものを沢山食べ続けているはずなので、「最後にこれ食べておきたい！」って思うものがきつくないですね。そして、120歳まで生きたら、もしかしたら最後は液体しか摂ってないかもしれないですね。生物学的には、120歳まで生きられると聞いているので、管理栄養士としてチャレンジします。

Q5. 先生の夢はなんですか？

卒業生と管理栄養士として一緒に仕事をする事です。もう何人かとは仕事しているんですよ。でも、もっともっと。すでにゼミ生は100人くらい卒業していますが、その人達と一緒に仕事っていうのはまだないんじゃないかな。これからはいっぱい管理栄養士になった人達と仕事できたらいいなあ、と思います。例えば、私がボランティアとか地域貢献で地域に出て行く時に、一緒に仕事をして一つものを作り上げていくとか。今は、教員と学生という関係でも、卒業したらみんな管理栄養士になって、同等な立場になるじゃないですか。「学生のときああだったのに、こんな立派になっちゃって〜！」みたいな話もしたいですね。



人間生活学部
食物栄養学科
4年 K.Fさん

三田村先生は多忙な学校生活を送りながらも、しっかりと遊びも楽しまれていたことがとても印象的でした。私も、残りの学校生活を先生のように、よく遊び、よく学んで過ごしていきたいと思いました。



人間生活学部
食物栄養学科
4年 I.Mさん

最後に食べたい食べ物のお話が、食物栄養学科の先生らしくとても面白かったです。私も先生のように、120歳人生にチャレンジします。長生きして、先生と一緒にお仕事がしたいです。

イエスの受難・復活・昇天という一連の出来事を目撃者であり、証人となる使命を与えられた弟子たちは、聖霊降臨という不思議な出来事(新約聖書「使徒言行録2章」参照)によって、無知な臆病者から大胆で雄弁な証人になり、イエス・キリストを伝え始めます。

ペトロは、イエスが捕らえられた時に逃げ、イエスの弟子であることを3度否定します。しかし、彼は聖霊降臨の後に大変革を遂げ、イエスの筆頭弟子として、主に各地のユダヤ人たちにイエスを伝え歩き、最後はローマでネロ皇帝による迫害で紀元65年頃殉教します。バチカンの丘のふもとの競技場で十字架刑に処され、その遺骨はキリスト教徒たちによって、競技場のすぐ隣の墓所で大切に崇敬されました。4世紀にコンスタンティヌス皇帝はキリスト教を公認した後、このペトロの墓の上に聖堂(バジリカ)を建てます。

16世紀にこのバジリカを大きなものに建て替えたのが、現在の聖ペトロ大聖堂です。第二次世界大戦中に教皇ピオ12世は考古学者たちにこの地下を発掘させ、ペトロの墓が発見されました。今、そこを見学することができます。(バチカンのHPでバーチャル見学もできます。)

一方、キリスト教徒たちを迫害していた熱心なユダヤ教

徒であったサウロという若者は、ダマスコに迫害の使命を帯びて出かける途上で不思議な光に打たれ、イエスの声を聴いて、イエスの弟子となる道に導かれました。ローマ市民権をもっていた彼は、パウロというローマ名を名乗り、熱烈にイエスを伝える使徒となります。ユダヤ人から訴えられ捕らえられますが、ローマ皇帝の裁判を受けたいと願い、ローマに到着します。ローマ市民であった彼も紀元65年頃、斬首刑で殉教し、皇帝コンスタンティヌスは彼の墓所に「城外の聖パウロ聖堂」を建て、その後大きな大聖堂になりました。21世紀早々にこの祭壇の下が初めて発掘され、2006年にパウロの石棺が手つかずの状態で見つけられました。

一世紀のこの偉大な使徒たちの命を懸けた歩みの上に、その後の2000年のキリスト教の歴史があります。



聖ペトロ大聖堂地下のカタコンベ



城外の聖パウロ大聖堂内のモザイク
イエスの右隣がパウロ、左隣がペトロ

「春の叙勲」受章おめでとうございます

本学園理事 吉田洋一様と本学前事務局長 谷村幸重様が2017年春の叙勲を受章されました。

栄えあるご受章、誠におめでとうございます。

心からお祝いを申し上げますとともに、今後ますますのご健勝をお祈りいたします。

瑞宝中綬章

功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた方に贈られます

吉田 洋一 様 (70歳)

藤学園理事 (2011年10月就任～現在)
元北海道教育委員会教育長

瑞宝双光章

公務等に長年にわたり従事し、功績を挙げた方に贈られます

谷村 幸重 様 (80歳)

前藤女子大学事務局長 (1999年4月採用～2004年3月退職)
元旭川医科大学総務部長

藤女子大学社会貢献推進会議企画第一弾
藤女子大学
未来共創フォーラム 2017

本学元学長の故喜田先生から薫陶を受け、現在、社会の第一線で活躍中の上智大学卒の元学生寮生の方々に、大学・社会・職業などについて、それぞれの経験を踏まえ時流をとらえた熱いトークを繰り広げていただきます。(参加無料・申込不要) [問合せ先: 本学総務課]

全3回 9月30日(土)、10月28日(土)、11月11日(土) 各13:00～

発行 藤女子大学 編集 広報「藤」編集委員会
北16条キャンパス 〒001-0016 札幌市北区北16条西2丁目 TEL (011) 736-0311 FAX (011) 709-8541
花川キャンパス 〒061-3204 石狩市花川南4条5丁目 TEL (0133) 74-3111 FAX (0133) 74-8344

ホームページアドレス <http://www.fujijoshi.ac.jp>